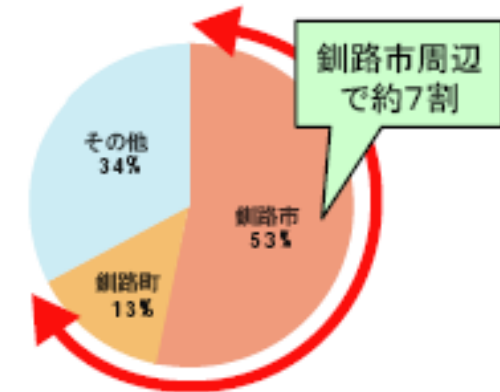


## 住みたくなる地域・生活環境の充実

### 利便性を確保するためのアクセス機能の向上

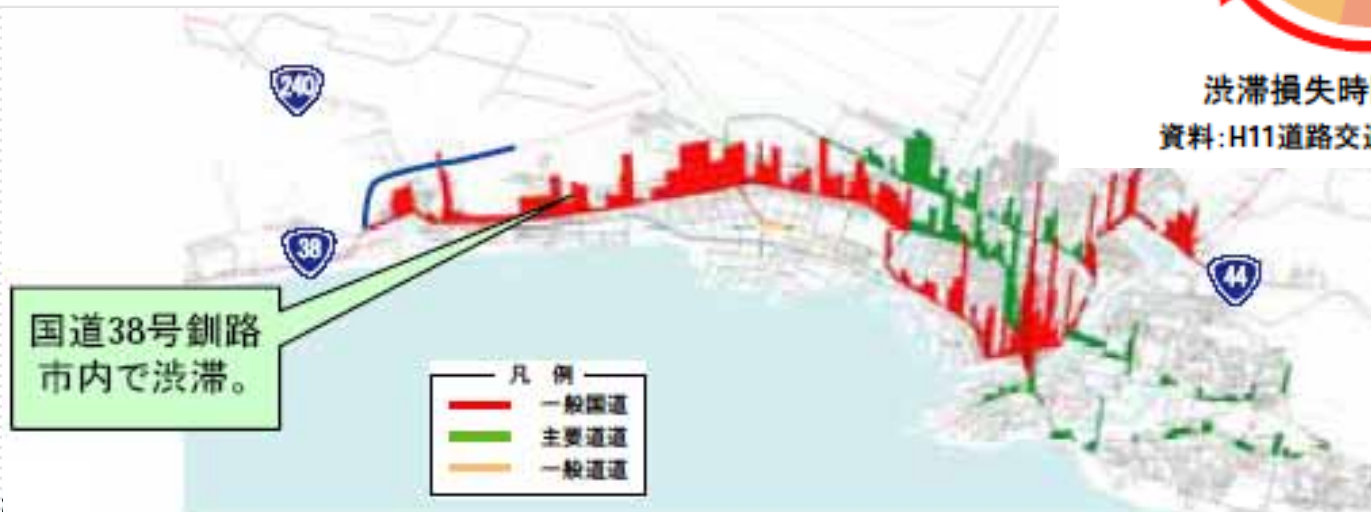
釧路・根室地域の渋滞状況を見ると、国道38号及び釧路市内で顕著となっている。

なお、交通渋滞による損失時間をみると釧路市で地域の約5割を占めており、隣接した釧路町と合わせると約7割近くが釧路都市圏に集中している。



渋滞損失時間の割合 (H16)

資料: H11道路交通センサスによる推計値



釧路市周辺における渋滞損失3Dマップと対策概要

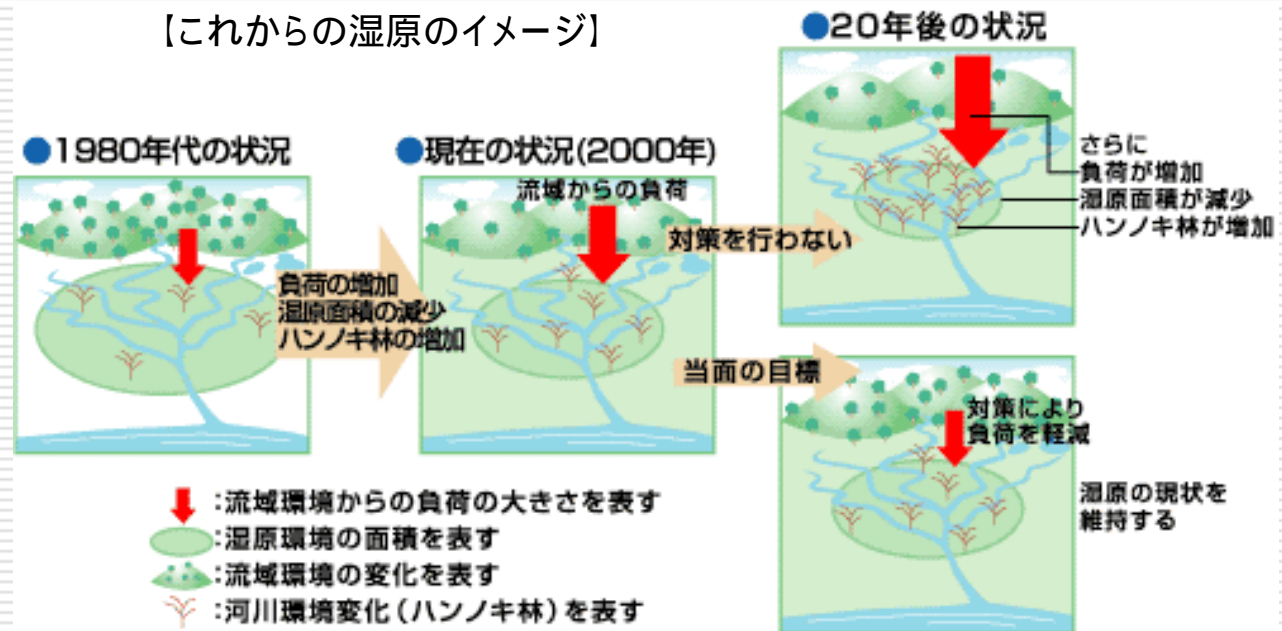
資料: H15プローブカーデータによる推計値

## 住みたくなる地域・生活環境の充実

# 豊かな自然を享受できる地域づくり

釧路湿原はわが国最初のラムサール条約登録湿地であり、タンチョウやキタサンショウウオをはじめとする多様な野生生物の貴重なすみかとなっているが、近年、流域の経済活動の拡大に伴い湿原面積が著しく減少し、湿原植生もヨシ-スゲ群落からハンノキ林に急激に変化している。

このため、関係省庁や自治体、地元NPOなどで構成する「釧路湿原自然再生協議会」が設立され、湿原を次の世代へ継承するため、さまざまな取り組みが進められている。



## 住みたくなる地域・生活環境の充実

# 地震・津波や豪雨・豪雪の災害に強い地域づくり

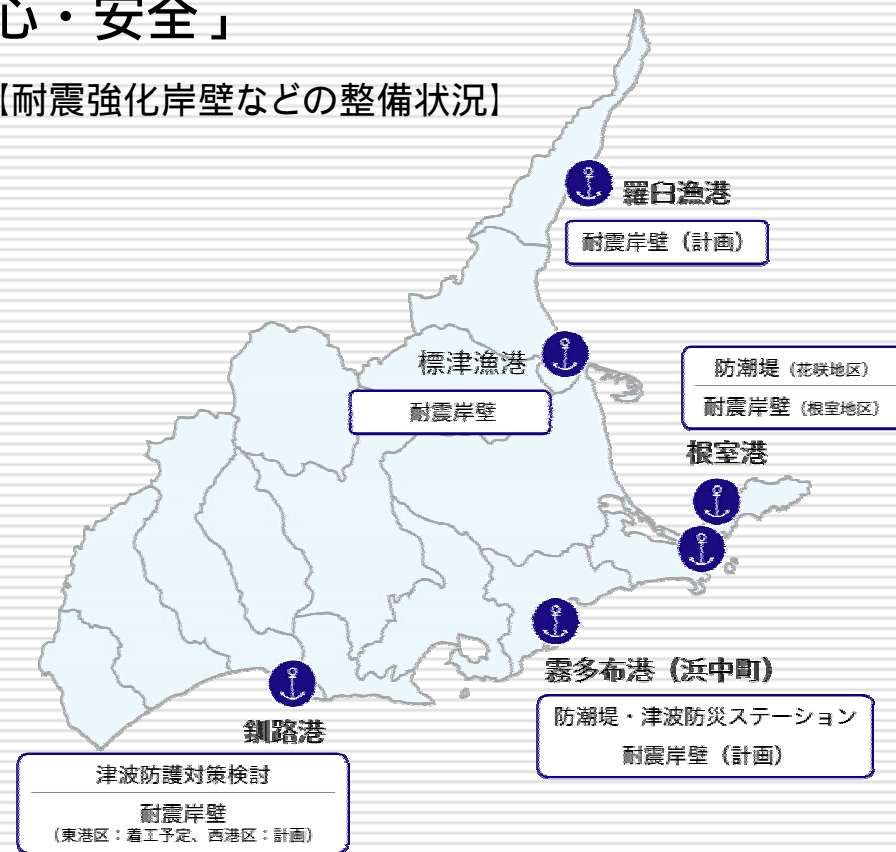
### 耐震強化岸壁がもたらす「安心・安全」

釧路・根室地域で、耐震化岸壁の整備が実施済みなのは、根室港(根室港区)で、対象背後圏人口約32千人のうちおよそ2千人と想定されている被災人口に寄与している。

このほか、計画では、釧路港(背後圏人口約200千人)、霧多布港(同約2.4千人)、羅臼漁港(同約2.2千人)で予定されている。

これらは防災、減災のほか、航路維持や道路被災時の陸の孤島化対策にも寄与している。

【耐震強化岸壁などの整備状況】



# 住みたくなる地域・生活環境の充実

## 地震・津波や豪雨・豪雪の災害に強い地域づくり

### ハザードマップ整備状況

釧路・根室地域において、ハザードマップを整備している市町村は、6市町で、「津波」が3市町、「火山」が2市町(重複を含む)、「洪水」が2町となっている。

今後もこれら整備が急務だが、市町村単位でなくより広域的な対応が必要である。

【管内市町村のハザードマップ作成状況】

市町村名		津波	火山	洪水
釧路地方	弟子屈町			
	標茶町			
	鶴居村			
	浜中町			
	厚岸町			
	釧路町			
	釧路市			
根室地方	白糠町			
	羅臼町			
	標津町			
	中標津町			
	別海町			
根室市				

